

【主担当部局：雇用経済部観光局】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

県民の皆さん、観光地域づくり法人（DMO）、観光関連事業者、市町等と一体となって、オール三重で戦略的な観光マーケティングの仕組みを確立し、三重の強みを生かした観光ブランディングや観光の魅力づくり、観光産業の基盤づくり、快適な旅行環境整備に取り組むことにより、三重が旅の目的地として世界から選ばれ続け、観光産業が三重県経済をけん引する産業の一つとして持続的に成長するとともに、地域全体の発展につながっています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
観光消費額						6,000億円 以上
	5,338億円 (30年)					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	観光客が県内において支出した観光消費額（交通費、宿泊費、飲食費、入場料、土産代等）					
2年度目標値 の考え方						

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
観光客満足度						95.0% 以上
	94.9% (30年度)					
県内の延べ宿泊 者数						950万人
	890万人 (30年)					
県内の外国人延 べ宿泊者数						68万人
	34万人 (30年)					

現状と課題

- ①観光産業は、県内総生産の3%（平成28（2016）年）を超えており、本県経済の稼ぎ手として、持続的に成長することが期待されています。

- ②本県では、伊勢志摩サミットやお伊勢さん菓子博 2017、インターハイ等の好機を生かし、オール三重で観光振興に取り組んだ結果、平成 30（2018）年の観光入込客数は 4 年連続で増加し、過去最高の 4,261 万人を記録しました。また、観光消費額についても 5,338 億円と 4 年連続で増加し、神宮式年遷宮のあった平成 25（2013）年に次ぐ過去 2 番目となるなど、観光で地域の稼ぐ力を伸ばす「観光の産業化」に向けた取組が着実に実を結びつつあります。
- ③日本の観光を取り巻く状況は、人口減少および少子高齢化の進展、旅行ニーズの多様化、インバウンドの急増、キャッシュレス化の進展、ICT の進歩、観光産業の担い手不足等大きく変化しており、本県の観光の発展のためには、こうした新たな課題にもしっかりと対応していく必要があります。
- ④令和 2（2020）年の東京 2020 オリンピック・パラリンピック、令和 3（2021）年の三重とこわか国体・三重とこわか大会、令和 7（2025）年の大阪・関西万博等のイベント、令和 9（2027）年のリニア中央新幹線東京・名古屋間先行開業、令和 15（2033）年の次期神宮式年遷宮等を見据え、オール三重で観光振興に取り組むことが必要です。
- ⑤旅の目的地として世界から選ばれ、持続的に成長する三重の観光の実現に向けて、国内外の観光客の多様なニーズを的確にとらえるためのデジタルマーケティングの仕組みを確立し、三重県観光のブランディングや観光地の魅力づくりに取り組むとともに、観光産業の高付加価値化や観光産業の生産性向上、受入れ環境整備に向けた取組を進めていくことが必要です。

令和 2 年度 of 取組方向

- ① SDGs や Society 5.0 の観点を取り入れて策定する三重県観光振興基本計画に基づき、旅行者目線に立った観光振興の取組を、県、市町、県民、DMO、観光事業者、観光関係団体がそれぞれの役割を担いながら、連携・協力しオール三重で推進します。
- ② 観光客の行動スキームである「旅への興味」「情報収集」「計画・予約」「目的地」「旅行後」の各段階に応じて、多様なデータを収集・分析することで観光客の関心や嗜好に沿った観光コンテンツやサービスをタイムリーに提供するなど、戦略的な観光マーケティングの仕組みを確立し、効果的なプロモーションや地域の魅力づくりにつなげます。
- ③ 動画や SNS 等を活用し、旅行者の関心や嗜好に合わせた情報を提供するなど、自然や文化、食、体験など「三重ならではの価値」を生かし、「三重に行かなければ味わうことのできない」新たな価値を、旅行者の目線も踏まえてオール三重で創造するとともに、客が客を呼ぶサイクルの確立に向けたブランディングを展開します。
- ④ 個人の外国人旅行者（FIT）や欧米諸国・富裕層及び首都圏・関西圏等大都市圏からの誘客・宿泊を促進するため、鉄道、航空などの交通事業者や国・他府県、JNTO 等関係機関と連携し、発地での情報発信や誘客プロモーションに取り組めます。
- ⑤ 観光関連事業者や DMO、市町等と連携しながら、体験メニューの創出など地域ならではの資源を生かした観光地の魅力づくりや国内外に向けた情報発信を促進します。また、本県観光の新たなゲートウェイとして、クルーズ船のさらなる誘致と受入態勢の向上に取り組めます。
- ⑥ 三重ならではの特色を生かし、ターゲットを明確にしたセールスプロモーションを行うことで、国際会議の開催につなげ、MICE 開催地としてのブランド価値を高めます。
- ⑦ 観光防災やバリアフリー観光を推進するとともに、AI 等最新の情報通信技術を生かした観光案内など、誰もが安全・安心に、ストレスフリーに旅行できる環境整備を促進します。

主な事業

①三重県版観光スマートサイクル確立事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R1) 58,377千円 → (R2) 49,758千円

事業概要：スマートフォン等を活用し、観光客に楽しんでもらいながら、マーケティングにつながる仕組みを構築し、より魅力的な観光コンテンツの開発やサービスの提供につながるよう取り組みます。また、インバウンドの増加に向け、動画を活用したブランディングプロモーションを実施するとともに、AIやMaas等の活用による受入環境整備を行います。

②（新）観光デジタルファースト推進事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R1) ー千円 → (R2) 15,150千円

事業概要：外国人旅行者がインターネットを通じて、より容易かつ詳細に三重の旅の魅力を知り具体的な旅行プランを描けるよう、SNSや口コミサイトなどに現れる外国人旅行者の生の声を収集・分析することにより、外国人旅行者から見た三重県の評価、興味のあることなどを把握するとともに、外国人目線での情報発信の強化などに取り組みます。

③（一部新）海外誘客推進プロジェクト事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R1) 48,102千円 → (R2) 20,289千円

事業概要：外国人個人旅行者の誘客強化のため、SNS公式アカウントと投稿キャンペーンを活用したWeb上での観光情報の発信、海外レップ（営業代理人）等を活用した誘客キャンペーンを行うほか、台湾からの教育旅行誘致に取り組みます。なお、新たな取組として英語圏に向けた情報発信や、より個人旅行者に重点を置いたキャンペーンを展開します。

④（新）観光事業者における生産性向上推進事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R1) ー千円 → (R2) 9,286千円

事業概要：観光事業者における経営改革の取組を地域全体の生産性向上につなげるため、観光客のデータを基に、観光事業者の連携によるビジネスモデル構築に向けた課題の整理や課題解決のためのモデル的な取組を行い、三重県内のサービス産業、地場産業等に携わる中小企業・小規模企業の振興及び人材育成を図ります。

⑤みえ観光の産業化推進委員会負担金

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R1) 49,401千円 → (R2) 34,678千円

事業概要：観光の産業化と持続可能な観光地域づくりを推進するため、県内の地域DMO等観光地域づくりを行う団体への支援、交通事業者等との連携による大都市圏でのプロモーション、クルーズ船寄港時における受入体制の充実・強化等に取り組みます。

海外M I C E 誘致促進事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R1) 16,245千円 (R2) 15,213千円

事業概要：開催地域への大きな経済波及効果を生み出す国際会議等M I C E の開催を促進するため、主催者が国際会議を開催しやすい環境づくりや、首都圏・関西圏を中心とした営業活動による誘致拡大に取り組みます。

観光事業推進費【基本事業名：33102 人にやさしい観光の基盤づくり】

予算額：(R1) 24,596千円 (R2) 25,010千円

事業概要：新たに策定した「三重県観光振興基本計画」に基づき、県民や多くの関係者とともに観光事業の推進を図るため、観光客の動向の分析に必要な観光客実態調査、三重県版バリアフリー観光の推進、観光防災等に取り組みます。